



あたりまえのことが・・・(何気ないことの幸せ)

「インフルエンザが流行ってきました。うがい手洗いなど、自分で気をつけて生活しましょう。それでは、朝のあいさつをす。おはようございます。(おはようございまあす。)」

いま、6年生の代表の人からもお話があったように、風邪がはやってきています。うがい・手洗いや教室の空気の入替えなど気をつけましょう。

さて、冬休み、お正月が終わって、3学期が始まった、と思ったのもつかの間、あっという間に『おもちつき』も終わり、1月も明日で終わってしまいます。3学期は、1月、2月、3月の3カ月。明後日から始まる「2月」も、のんびりしていると逃げ去ってしまいます。

前にもお話ししたように、3学期はあっという間。1月は行く月。もう、行ってしまいます。2月は逃げる月。油断していると逃げるように過ぎてしまいます。そして、3月は去る月。気がつくと終わっているくらいに、あっという間に過ぎてしまいます。

ですから、油断していると、何も準備しないうちに今の学年も終わり、新しい学年になってしまいます。

そこで今日は、「今 あたりまえのことが・・・・」という話をします。

皆さんがふだん何気なくあたりまえに思っていることが、とてもかけがえのないことだったり、とても大切なことだったりするのに、その時は気づかないでいることがよくあるものです。

そしてそれは、今の当たり前そのままそれがずうっと続いていくわけではないのです。

今、皆さんの周りには、あたりまえに友達がいて、先生がいて、チャイムにあわせて授業が始まって、自分たちの決まった教室があって、けんかしたり、仲よくしたり。家に帰れば家族がいて、叱られたりほめられたり、ごくごくあたりまえのことがあたりまえのように毎日過ぎていきます。そして、自分自身だって、今あるよいところや自分らしさがずっとこのまま守りつづけられるかどうか難しいところです……。

改めて考えてみてください。本当に今あるいろいろな『当たり前』のこと、それはずうっとあたりまえでいられるのでしょうか。

今ここで月曜朝会をし、1年生から6年生まで、そして先生方もいらっしやいます。でも、あと2ヶ月経つと、確実に6年生は桃五小にはいません。今、6年生の教室に行くと「あと〇〇日」と書いてあり、その数は一日ずつ減っています。そう、あと40日余りで、卒業して中学生になり、桃五小の子どもではなく、それぞれの中学の中学生。残念ながらもう桃五小で皆さんと一緒に並ぶことはありません。

他の皆さんも、1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生、5年生は6年生になるのです。そして6年生は、みんなそれぞれピカピカの中学生。もう、今のようにここに並ぶことは決してありません。何回もいう用ですが、今日のように並べるのもあと何回かだけなのです。

そう、ずうっと続く当たり前のことなんてないのです。ふだんの何気ないこと、当たりの前のことが、本当はかけがえのない大切なことなのかもしれません。

以前、新聞で中学生のおよそこんな内容の投書を見つけました。

『———— 半月ほど前、小学生の弟が、急入院した。お母さんからは、風邪をこじらせたただけだ、と聞いていたので心配もしていなかった。でも、何日かしてお父さんから大変な病気であることを知らされた。たいしたことはないと思っていた私はとても驚いた。

弟とはけんかばかりしてきた。弟も私を邪魔だ邪魔だ、といていた。好きだとさえ思わなかったのに、いざ独りになって弟のことを考え、涙が出てきた。『普段の何気ない、あたりまえの出来事が、本当はとっても大切で、幸せだったんだということに気がついた。』

そして、弟が入院して2週間。私のことを心配して友達が、千羽鶴を折ってくれていた。普段いるのがあたりまえだった友達のありがたさを、改めて知ることができた。————』

普段の何気ないごくごく当たり前のこと、でもそんな中にとっても大切なことがきっとあるはずです。

ですから、改めて自分の身の周りを見直してみませんか。

きっと、宝物のような大切なことに気づかずに何気なくすごしてしまったり、おろそかにしてしまっていたりしているかもしれません。

大切な友達、大切な今の自分、今にしかないもの。今しかできないこと……。かけがえのないものを、気づかないうちに自分でこわしてしまわないように、もう一度自分の身のまわりを見まわしてください。

もう一度見直し、今ある自分や自分のまわりの大切なものを改めて見つけて、そのうえで新しい来年度の一年間を迎えたいですね……。大切な、宝物のようなもの。きっとたくさんあなたの周りにはあるはず。なくさないように、なくさないように……。

お話を終わります。

